

Action

町田市立薬師中学校
第2学年
令和7年7月4日
第15号

「反省」＝「前進」となるように！

先週の期末テスト終了後から、各クラスでは班長会を行い、「授業をより良くするためにクラスでできること」について話し合い、その後、学級委員が中心となって各クラスでこれまでの授業の反省について話し合われました。

さて、『反省』とは、できなかったことや悪かった点を意識して改めようと心がけることであると言えますが、「良くできた」ことを「良くできた」と自覚することも『反省』の1つだと言えます。良かった点・改めなければならない点のどちらの『反省』も、その後に生かされて初めて意味をもつものです。

ですから、88個の前進に期待！

仮に、皆さんの一人ひとりが「何か」を1つでも改善できたとすれば、各クラスでは44個以上の「何か」が改善されることとなります。そうなれば、クラスの雰囲気は間違いなく変わります。そして、薬師中学校2年生全体では88名分の「何か」が改善され、学年全体の雰囲気もさらにプラスの方向に変わります。「何もかもパーフェクト！」ではなくても、何か、どこかに、今回の反省を生かしてください。そうやって一歩ずつ確実に、学年全員で学年をより良くしていきましょう。

学習計画表 2週目の計画をふりかえっての反省点

- ワークは、2週目を終わらせられなかった教科があったので、もう少し前から取り組まないとだめだなと思いました。
- 4教科の内容をうまくノートにまとめてテスト前に復習できたのはよかった。だけど問題文をあまりよく読まずにあせってしまい、間違えてしまったことが反省。次のテストでは、ワークを何周もして、頭に入りたいです。
- 2週目は5教科に力を入れて取り組みました。ただあまり実技教科があまり勉強することができていなかったのも、もっと取り組めるよう次は計画を立てて頑張っていきたいと思います。
- 毎日7時間くらいできました！英語は今週も毎日やることができました！

- 計画通りに進めず、あまり応用に取り組めなかった。でもテスト前日から最終日までは集中して取り組めた。
- 1週目のふりかえりでワーク2周ができなかったけど、2週目では不足分を挽回できたので良かったと思います。
- 社会と数学をがんばった。英語もやってはいたけど単語を覚えきれなかったから、単元テストのときにしっかり覚えて定期テストのときは覚えなくていいようにする。
- 1年生のときより、ワークを2周したりと繰り返すことができた。やっぱり実技教科があまりできなくて計算通りにいかない部分があったからできるようにしたいと思った。
- 2週目は1週目より効率よく集中して勉強に取り組むことができた。
- 計画的に進めることができたけど予定をつめこみすぎてしまっている日もあって計画がうまく立てられていないと感じたから、そこもふくめて次回頑張りたい。

体育祭 作文紹介

『体育祭を振り返って』2年2組 生徒

私は、この体育祭を通して、はじめから諦めてマイナスな言葉ばかりを発するのではなく、最後まで信じてプラスな言葉を発することで、勝敗は変わるということを学びました。

今年の体育祭も点数が入るはじめての競技は大縄跳びでした。練習が始まって初めて大縄を跳んだとき、一回目や二回目で引っかけちゃってなかなか連続して跳べませんでした。その時の記録は合計で四十七回でした。三年生は百回を超えていたクラスもある中でのこの記録は、焦りを感じるとともに、頑張らなくてはいけないというやる気も感じました。そこから二週間、授業や昼休みを使って練習していく中で、はじめは二回で止まっていた縄も、十回、二十回と連続して跳べるようになりました。また、掛け声も特定の人だけが声を出すのではなく、全体として数を数えるようになり、その声も次第に大きくなりました。そして、体育祭本番、二年二組は合計で九十五回ほど跳ぶことができました。一組には負けてしまったけれど、本番で最高記録を出せたこともあって悪い雰囲気ではなくむしろここから頑張ろう、まだ行ける、といった明るい声かけが多くありました。

そのまま、約二十点差で体育祭は進んでいきました。その間も、同点まで行こう、諦めないで、といった発言が多くありました。そのまま最後の代表リレーになり、結果はこの種目にかかっているというプレッシャーがあったのでとても緊張していました。けれど、なんとか一位と二位をとり同率一位でこの体育祭を終えることができました。この結果になれたのは、はじめから負けていてもポジティブな声掛けが多くあったからだと思います。

このような場面はこれからもたくさんあると思います。そんなとき、マイナスな言葉ではなく、明るく元気が出る言葉をたくさん発することで勝敗すらも変えることができると信じて頑張ろうと思います。